



国指定 重要文化財

鳳来山

東照宮



日本三大東照宮

緑と紅に包まれた 東照宮周辺と 鳳来寺山



傘杉と石段



仁王門（重要文化財）

鏡岩と本堂

鳳来寺
大宝三年（七〇三）勅命により仙人が鳳凰に乗って御所に参内し、文武帝のお悩みをお直したので天皇はこの山に寺をお建てになり「鳳来寺」の名を賜った。

本堂

昭和四十九年再建。子授けの功德があり、徳川家康のご母堂が参拝し家康を授かったといわれている

鏡岩

屏風岩ともいい、高さ六〇メートルの絶壁で、第一の勝景地。

仁王門

国重要文化財。正面の額（鳳来寺）の文字は光明皇后ご染筆と伝えられている。

傘杉

杉としては樹高日本一を誇り、樹齢八五〇年と推定される。

石段

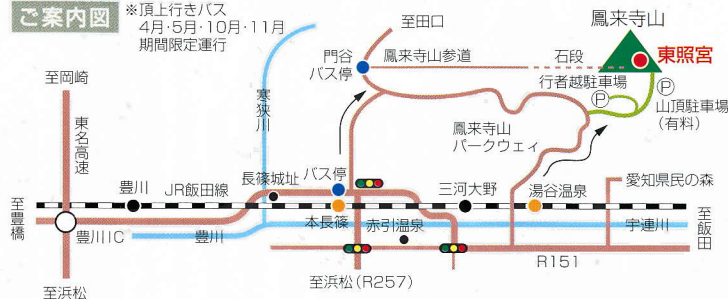
石段の長さは九町、俗に「四二五段」といわれている。「町毎に町目石が立っている。石段は健康に最適。

仏法僧

五〜七月に山一帯で「フッポウーン」と鳴く声が少し前までは、よく聞こえた。

ご案内図

※頂上行きバス
4月・5月・10月・11月
期間限定運行



自動車 ● 国道151号線（豊川インターより約50分）

電車 ● JR飯田線（豊橋駅より約60分） ● 本長篠下車・バス12分 ● 湯谷温泉駅下車・バス12分
鳳来寺山頂駐車場（有料）より東照宮まで徒歩10分

鳳来山東照宮は日光・久能山とともに 日本三大東照宮と称されています。

御祭神 源朝臣 徳川家康公
合祀 鎮守三社 山王権現
熊野権現
白山権現

祭典日	元旦祭	1月1日
	春の大祭	2月17日
	祈願祭	4月17日
	創建記念祭	6月17日
	秋の大祭	9月17日
	誕生祭	11月23日
	大祓い	12月26日
	月次祭	12月29日
		毎月17日

鎮座地

愛知県新城市門谷字鳳来寺4番地 〒441-1944
鳳来山東照宮社務所 TEL・FAX.0536(35)1176
<http://www.tees.ne.jp/horaitosyogu/>

が生まれ変わってこの世に現れ、武徳を天下に広く知れわたらせて、数百年の兵乱をお鎮めになり、世の中が極めて平和に過ごせる基礎を開かれたのです。

そのため、お母君はご生涯名代として岡崎甲山寺の定光坊を鳳来寺峯薬師に遣わして、心を込めて報謝の誠を捧げられた」と書いてあったのをご覧になり、非常に感銘されて、その恩返しとして、薬師堂を始め数多くの堂坊を再建されました。また、東照宮を新設することも思い立たれて、老中阿部豊後守忠秋を呼んで、早速御造営の旨をおっしゃられ、徳川四代將軍家綱公の時、慶安四辛卯年（一六五一）九月十七日に落成創祀されました。

由緒

慶安元年（一六四八）四月、徳川三代將軍家光公が日光山東照宮ご参拝の折、兼ねて命じてあった「東照社縁起」を改めてご覧になられた。

その第一巻に東照（家康公）大権現のお父君（広忠卿）が、子どものないことを嘆いて、お母君（北の方伝通院）とご一緒に鳳来寺峯薬師へ御参籠されご祈願をなされたら、その証があつて、それから間もなく北の方伝通院殿が身ごもられ、十二か月過ぎ、天文十一年寅年（一五四二）十二月二十六日にご出産遊ばされたのが東照大権現でした。

これは、「真達羅大将（寅童子）



社務所



正面階段

沿革

松平広忠公夫妻が、鳳来寺山に参籠祈願して竹千代君（家康公）を儲けられたという所伝により、慶安元年三代将軍家光公が当山に薬師堂再建と東照宮勧請を発願、太田備中守資宗を造営奉行として工事を進め、同四年社殿落成、江戸城紅葉山東照宮より奉遷の御宮殿を本殿に安置し、壮嚴な正遷宮を行い、四代将軍家綱公より神祖御画像や太刀豊後友行作（関ヶ原陣御佩用という）が献ぜられた。明暦二年幕府は社領として四百七十余石（のち五百四十余石となる）を寄進し、江戸時代十回に及ぶ修理を行っている。明治五年神仏離、同九年郷社に列し、同十年鎮守社を合祀し、爾後山麓町村（鳳来寺・長篠・海老）後旧鳳来町の崇敬氏子によって奉斎されて今日に至る。

鎮座地鳳来寺山は古来奥三河の靈地として開かれ、東照宮は、巨巖をぬって登りゆく石段千四百余段の極まる幽邃境にある。石段は本邦随一と称せられる。本殿以下六棟は重要文化財に指定され、昭和三十二年旧鳳来町に置かれた東照宮修理委員会によって屋根替工事が、同五十年には全面修理が行われた。平成三年台風による一部補修に続き平成十五年全面屋根葺替えと部分改修によって見事江戸時代初期の権現造りの社殿に蘇生した。



拜殿鈴



豪華絢爛本殿正面



本殿全景

東照宮建造物

国の重要文化財（昭和二十八年十一月十四日指定）

本殿

（桁行）三間・（梁間）二間・（向拜）一間

一重・入母屋造・松皮葺

拜殿

（桁行）三間・（梁間）二間・（向拜）一間

一重・入母屋造・松皮葺

幣殿

（桁行）二間・（梁間）一間 前面拜殿に接続

一重・背面切妻造・松皮葺

中門

（桁行）一間・二戸平唐門・松皮葺

左右透塀

各折曲り二十五間・松皮葺

水屋

（桁行）一間・（梁間）一間

一重・切妻造・松皮葺

水盤を含む

《附》

石柵

折曲り延長 二百五十二尺六寸

（およそ七十六メートル）

石灯笼

二基 各年に慶安四年辛卯九月十七日の記がある。

板札

一枚 慶安四年辛卯四月吉日の記がある。

棟札

三枚 造宮 慶安四辛卯年九月十七日の記がある。

修復 明和二乙酉年三月の記がある。

修復 天保四癸巳年六月の記がある。



鳥居

木造朱塗鳥居

石造鳥居（石垂表）

木柵

およそ四メートル

燈籠

銅燈籠 一基

石燈籠 十四基

狛犬

武運にめぐまれた家康公のおかげを受けようと、出征将士が欠かして、弾丸除けに持っていた丸くなってしまう。今は三代目の狛犬（平成二年奉納）で、現代においては、家内安全・交通安全・安産を祈願して、狛犬をなせたりしていく参拝者は後を絶ちません。家康公のご神徳の偉大さがうかがわれる。

● 狛犬（現在三代目）

平成二年十一月

旧鳳来町玖老勢荒川伊十氏より寄進

● 拜殿上部の鈴

平成四年

旧鳳来町湯谷丸山新氏より寄進

● 社務所

平成十五年八月

奉賛会及び多数の崇敬者の協力により新築落成。

● 防災施設（自動消火装置）

平成十六年設置



拜殿前左の狛犬



拜殿前右の狛犬



ご 殿
御 宮



狛犬と隨身（若）



狛犬と隨身（老）

人の一生を看する所は、
 との如く、心ゆく樂に、
 と、
 人の一生を看する所は、
 との如く、心ゆく樂に、
 と、
 人の一生を看する所は、
 との如く、心ゆく樂に、
 と、

家康公の遺訓

家康公のご功績

二百六十五年も長く平和の世が続いたことは、世界史上その例を見ない。家康公の神業にも等しいお力によって、その基礎は固められたのである。家康公が、元和二丙辰年（二六一六）四月十七日巳の刻、駿府城でこの世を去られるまで、七十五年の生涯には寸分の隙もなかった。

それは幼少のころから磨きぬかれた不世出の英才と、とき澄まされた洞察力と、俊敏な実行力とによって、ついに天下統一の大業を達成され、天下泰平の基礎を堅く築かれたのである。この公の偉業は、執念とも思える国内和平を願う源家の血流が、公の全身に沸きたぎった結果である。

公の生涯を貫かれた精神は、そのご遺訓に集約され、現代人の心に静かに働きかけている。